

公文式本市場教室 火3~7時 木2:30~6:30 TEL 61-4936(上平方)

横割教室 月・水 3~7時 TEL 61-8891(福島方)

指導者：新妻ゆき子 携帯090-2260-0671

Eメール:yvonne-yukiko@mbi.nifty.com

携帯アドレス:yvonne-1682-yukiko@docomo.ne.jp

ゆきこくもん

検索

ホームページ <http://www.yukiko-kumon.com>

2019年

ホームページへGo!→  
スマホで教室だよりが見られます



教室だより 12月号

### 【公文式は「働く姿勢」に通じる力を育てる】

前回から公文式が育む力についてシリーズでお伝えしています。「公文式を導入している中学校」と、「公文式や他の民間教育を導入していない中学校」を対象にした研究では、学校の授業内容の習熟度を測る「学習習熟度」のテストで、中1の入学時点では公文式を導入していない中学校のほうが高かった得点も、中2・中3と上がるにつれて、公文式を導入している中学校のほうが上回るようになりました。「学習習熟度」の他にも、「処理力」「思考力」「修正力」という3つの能力において、伸びを示す結果が出たのです。そしてそれらの力は将来、子どもが大きくなった時に「働く姿勢」にも通じると共同研究者から評価されました。今回からこの3つの能力を1つずつ解説します。

1つ目の「処理力」とは、作業できる量とスピード、一定時間継続して作業ができるようになる力のことで、公文式の学習を通じてこれらが向上することがわかりました。共同研究者によると、この「処理力」は、「多くの作業を集中して着実に処理する姿勢」につながり、それは、将来仕事を遂行する場面で、仕事に対する「熱心さ」や「仕事への情熱」などにもつながっていくとのこと。

今回は2つ目の「思考力」についてお伝えします。

### 公文式の創始者・公文 公（くもん とおる）先生の言葉より

#### “個人別学習”

子どもたちは、それまでの環境、性格、素養、練習量などが一人ひとり違います。それが個性となってそれぞれバラエティ豊かな人間性ができていきます。学習においても、年齢が同じだという理由だけで学習内容のすべてを統一すると、ある子にとっては難しすぎて自信を失わせたり、他の子にとっては簡単すぎて退屈だというようなことがどうしても起こってきます。本当に身につく学習をさせるためには、その子にちょうど合った内容を考えてあげなければならないのです。子どもを意欲的に学習に取り組ませるためには、個人差や能力差に目を向けた、それぞれの子どもの立場に立った個人別の教育こそ必要です。公文式は、他と優劣を競わせるのではなく、あくまでその子どもを主人公として、個人別に学力を向上させて、一人ひとりの可能性をできる限り引き出していく教育法です。

### 2019年 12月の学習日

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
日	月	火	水	木	金	土
1	△2	3	△4	5	6	7
8	△9	10	△11	12	13	14
15	△16	17	△18	19	20	21
22	△23	24	△25	26	27	28
29	30	31				

本市場教室日□

横割教室日△

#### 保護者様へお願い。

お休みのときは電話でもメールでも結構ですので連絡をお願いします。

12月分の会費引き落としは11月28日(木)です。よろしくお願いいたします。

(注)休会・退会の場合は、引き落としの関係から15日までにお申し出下さい。

教室からご家庭に連絡される生徒さんの場合は固定電話・指導者携帯電話・メール等はいずれも10円納入願います。

\*学習終了後、学校の宿題をやってもかまいませんが、おしゃべりしたり、だらだらやる子は、即退出してもらいます。ご了承ください。

## \*ゆき子の一言コラム

### 2020教育改革で問われる国語力

2020年度から始まる大学入学共通テストでは、国語と数学に記述式問題が導入されます。共通テストの試行調査では、複数の資料の内容を読み解いて解答する問題もありました。20年度からは小学校、21年度からは中学校の授業も変わります。

さらに、22年度から順次、導入される高校の新学習指導要領では、国語の科目が再編され、論理的に書いたり、批判的に読んだりする力の育成を重視する「論理国語」などが新設されます。

### 子どもについての質問その①

質問；子どもはのびのび育てたいので、「勉強しなさい」とうるさく言わず、見守ってきました。でも中学に入って成績は下がる一方で、塾には行きたがらず、家で勉強しない子になってしまいました。

回答・対策；親がそばについて、一気にやり直す

「のびのび育てる」「勉強しなさいと言わない」「見守る」。  
この三つがそろえば必ず「成績が下がる」「親が焦る」「塾に行きたがらない」「家で勉強をしない」という子になります。  
なぜなら、この三つは間違っているからです。

まず、「のびのび」ですが、こどもが好きだけ遊ぶのを見て「のびのび」していると満足していたのではありませんか。乳幼児と小学生の「のびのび」は全く質が違います。

子どもは次第に成長していくものだということを忘れてはいけません。  
小学生は学校で学ぶことをよく理解できて初めて、心の底から「のびのび」できるのです。  
中学に入って成績が下がったとのことですが、それは当然です。  
小学校に比べ、中学の授業内容は、はるかに難しくなります。  
小学校の上に中学の内容が乗ってきますから、小学校の内容がいい加減では、決して中学の内容は理解できません。

いま、子どもさんは「のびのび」どころか「おどおど」しながら教室の椅子に座っていることでしょう。  
「学ぶ」こと抜きに、何も知らない子どもを一人前の人間にすることはできません。  
知らないことを「学んで」身につけるのは多少の忍耐が必要です。

でも、その忍耐のあとに自信や達成感が得られ、それが「自己肯定感」になるのです。  
子どもを「見守った」ということですが、子どものそばでラクをただけなのです。  
子どものために、親は時間も手間も惜みず、自分の人生をもすり減らさなければならないのです。  
「のびのび」という安易な言葉に甘えてしまったと思います。

いま、やるべきことは、まず、小学校で学ぶ内容を完全に習得させることです。  
あやふやなところまで戻り、一気にやり直す。中学の問題集も定期テストをこなしながら済ませる。  
初めは学習習慣が身につけていないので大変ですが、決めた時間に親がそばにきちんとついてさせればできます。  
教える必要はありません。丸つけのみで大丈夫。  
まずは3カ月やってみてください。子どもさんは見違えるように目が輝くと思います。  
ぜひ、頑張ってください。

- ①はきものはきちんとそろえよう！
- ②あいさつは おおきなこえで はっきりしよう！
- ③もちものには なまえ をかきましょう！
- ④でんわをかりたら かならず でんわ代10えんいれてください！